

令和5年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：精明地区行政センター

日時：令和5年5月30日（火）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

私は精明地区で新規に有機農業をやっている。この度はこういう場で発言させていただき感謝している。また、資材の価格高騰化に対する市の支援についても併せて感謝している。

農業の関係で一つ懸念していることがある。今、里山、里地、里川の風景がある精明地区の入間第二用水で、護岸のコンクリート化をしている。普通であれば、一緒に暗渠排水をやらなければいけないがやっていない。以前工事後に、水はけが悪くなって、農地を一部休耕地にした農園もあった。飯能市は「水と緑の交流」と言っているが、そういう場所がコンクリートの三面張りになってしまっただけではザリガニ釣りなど、子どもが遊べない場所になっている。農業者にとっても暗渠排水がやれていないので生産がこれからどうなるのか心配である。魅力がないコンクリート張りのふるさとの川がなくなったようなところでは、なかなか新規就農の人もやりづらいのではないかとということでお話をさせていただいた。是非、皆さんに現地を見ていただけたらと思う。

【回答】

基本的に市の水路の工事につきましては、多自然型工法を取り入れてやっております。南小畔川とかそういった河川では、現場で多自然型のみで施工ができないところもありますので、やむを得ないところでは、コンクリートの三面張りというところも出てくるかと思えます。入間第二用水土地改良区でも検討したことと思えます。それが実現に至っていないというのは歯がゆい思いかもしれませんが、それがどこまで改修が可能か、これにつきましては、近いうちに入間第二用水土地改良区の方にも話をさせていただきたいと思えます

【ご意見②】

精明地区の自治会加入世帯数は下加治120、宮沢37、小久保86、平松243、川崎37、下川崎62、芦荻場103、東新向90、平松団地165、平柳35の合計978世帯である。今年の精明小学校の新入生は11人で、全学年で92人しかいない。市街地に近く平地なのに人口が増えない。農地が農地である限り全然家が増えない。地区体育祭で人が集まらない。農地といってもほとんどが耕作放棄地である。南高麗地区に「農のある暮らし飯能住まい」という制度があるが、精明地区にも同様の制度を導入するなど人口増加対策をお願いしたい。

【回答】

精明地区に南高麗地区の「農のある暮らし飯能住まい」と同様の制度をとというご要望につきましては、ご承知のとおり、農業振興地域と農用地区域がネックになっております。ここを何とか打破しないと次に進めません。埼玉県と再三協議をしております。私も市長就任以来、埼玉県に出向き取り組んでおりますが、現時点では良い返事をいただけておりません。現段階では道の駅、企業誘致をひとつの手段として取り組

んでいきたいと考えます。可能なところはエリアを定めて企業の働き口を設けて取り組んでいき、従業員の住まいや付随する建物を近くに建てられないかということも協議の中に入れていきたいと考えます。精明小学校の入学児童数が少ないことも承知しております。まずは道の駅、企業誘致に取り組んでまいります。農業振興地域と農用地区域につきましては、今後も国、県と積極的に検討していきます。